



2018年11月5日

各 位

上場会社名 ソマール株式会社
 代表者 代表取締役社長 曾谷 太
 (コード番号 8152)
 問合せ先責任者 IRC部長補佐 近澤 美弘
 (TEL 03-3542-2160)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,300	400	410	340	175.15
今回修正予想(B)	11,479	550	594	526	271.37
増減額(B-A)	179	150	184	186	
増減率(%)	1.6	37.7	45.0	54.9	
(ご参考)前期第2四半期実績(2018年3月期第2四半期)	11,009	498	504	473	243.52

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,800	770	790	660	340.00
今回修正予想(B)	23,000	920	980	840	432.79
増減額(B-A)	200	150	190	180	
増減率(%)	0.9	19.5	24.1	27.3	
(ご参考)前期実績(2018年3月期)	22,514	1,027	1,004	911	469.57

修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、原材料価格の上昇が続く厳しい状況下で、スマートフォン関係業界向け主要製商品の販売は当初予想した通りの落ち込みとなりましたが、光学機器向け新規顧客への新たなコーティング製品の販売や自動車部品業界向け高機能樹脂製品の販売などが当初の予想以上に堅調な推移となり、また、とりわけ海外タイ子会社において主要顧客への関連製商品の拡販が想定以上に進展したこと、更には、円安基調下で一定の為替差益も見込めることから、連結の売上高並びに営業利益等の各段階の利益を押し上げ、前回の業績予想を上回る見通しとなりました。

なお、2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦の激化などで不確実性を増す世界経済の中にあって、当社グループを取り巻く経営環境は一段と不透明さを増し、当社グループの業績見通しも極めて難しい状況ではありますが、当第2四半期(累計)の連結業績予想の修正を踏まえ、通期の連結業績予想につきましても上記の通り修正を行いました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上